

このコーナーでは職員の趣味や特技を紹介します。今号は病院長補佐(病院情報担当)に寄稿いただきました。

子供の頃から体を動かすことが好きで、小中学校では剣道部、高校と大学ではサッカー部に所属し、学生時代は運動に熱中していました。部活以外にも趣味として、ソフトボール、野球、バスケットボール、ウィンドサーフィン、テニス、ゴルフなど、多くのスポーツを経験してきました。しかし残念ながら、サッカーでは足関節を怪我する機会が多く、現在は後遺症のためスポーツから離れています。ただし、サイクリングは足関節に負担が少ないので、移動の際はできるだけクロスバイクを使い、体を動かすようにしています。

運動をあまりしなくなった一方で、1年前に徳島に赴任してからドライブをする機会が増えました。徳島のことはまだ知らないことが多いので、時間を見つけて遠方に出かけるようにしています。これまでに訪れたところは、鳴門の渦潮、大塚国際美術館、鳴門市ドイツ館、うだつの町並み、祖谷のかずら橋、蒲生田岬などの観光地です。また、春には向麻山公園や鴨島公園の桜、広棚の芝桜、地福寺の藤、そして秋には那賀川町のコスモスを見に行きましたが、とてもきれいでした。そして花だけでなく、周りののどかな風景にも癒やされ、日常から解放された気分になりリフレッシュすることができます。他には道後温泉、明石、神戸を訪れましたが、徳島県外にも比較的ドライブしやすいので、これからも積極的に出かけてみようと思っています。

病院長補佐(病院情報担当) 廣瀬 隼



大鳴門橋をバックに



向麻山公園の枝垂れ桜



祖谷のかずら橋



那賀川町のコスモス畑

このコーナーでは、病院でとりくんでいる様々な事業を紹介します。

患者用クリニカルパス検索ページの開設について

クリニカルパスセンターでは、患者さんと職員の満足度の向上及び経営の効率化を図るため、クリニカルパス運用の推進に取り組んでおります。各診療科、各部門の皆様には、日頃のパス運用、またパス大会での発表など、ご尽力いただき心より感謝申し上げます。徳島大学病院のクリニカルパスは、患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法として運用をしております。

クリニカルパスには、医療者用と患者用があります。医療者用は入院期間中の診療計画を一覧表にしたもので医療スタッフが使用します。患者用は、医療者用をもとに入院中の目標や予定を患者さんが理解しやすいように、わかりやすい言葉やイラストなどを用いて作成された計画書で、外来または入院後に患者さんにお渡ししています。

今年度は、患者用パスに関するご意見を、患者さんに伺うためにアンケート調査を行ったところ、「安心して入院生活を過ごすことができた」「日々の目標がわかることで計画的に行動できた」と大部分の方に答えていただき、患者用パスが患者さんの理解と安心そして行動化に役立つツールとして重要であると再認識いたしました。また、多数の方から入院後にお渡ししている患者用パスを入院前の段階で見たかったとのご希望も寄せていただきました。今回、こうした患者さんのご希望にお答えする一つの方策として、徳島大学病院ホームページに患者用クリニカルパス検索ページの開設をいたしました。各診療科、各部門にご協力をいただき約80種類の患者用パスを掲載しております。患者さんにこのページを入院前の段階から見ていただき、治療の選択と合意をもって治療を行えることが患者さんとともに歩む医療の実践につながるものと思っています。この検索ページを診療や看護ケアに活用していただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

クリニカルパスセンター副センター長 笹井 知子(看護師長)



徳島大学病院ホームページ
患者用クリニカルパス検索ページ



徳島大学病院第3回クリニカルパス大会

NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係(bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp)までお寄せください。また、「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。



病院新採用職員の紹介

形成外科・美容外科 山下雄太郎特任助教

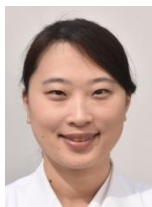


平成28年度より2年間のあいだ、形成外科では日本一の手術件数を誇る東京の杏林大学付属病院に国内留学に行かせていただき、平成30年4月より徳島大学形成外科に復帰いたしました山下雄太郎と申します。徳島大学病院では形成外科の外来医長を務めさせていただいています。

杏林大学付属病院では血管奇形に対する硬化療法や手術治療、リンパ浮腫に対する圧迫療法やリンパ管静脈吻合、虚血肢に対する遊離皮弁やdistal bypass、切断指の再接着、顔面神経麻痺に対する動的再建など様々な手術を数多く経験することができました。

平成30年9月よりリンパ浮腫外来も開設し担当しております。また当院の血管腫、血管奇形担当医と硬化療法も始めております。学んできたことを多くの患者様のために役立てられるよう精進していきますのでよろしくお願い致します。

そしゃく科 藤本けい子医師



本年度より歯科そしゃく科の医員をさせていただいています。

平成25年に鹿児島大学を卒業し、徳島大学病院卒後臨床研修センターで1年間の研修を終えた後、昨年度まで大学院生をしておりました。そしゃく科では歯や粘膜をはじめとする口腔内の軟組織・硬組織の欠損を人工物で補い、審美、咀嚼、構音といった口の形態と機能を回復することを目的に日々診療しています。また、診療に加えて学生実習にも参加させていただき、教えることの難しさについても痛感しています。

趣味は阿波踊りで中学生の頃から有名連に所属し、現在も続けています。仕事も忙しくなってきましたが、いつまでも続けていけたらいいなと思っています。

今後は、様々な先生方の指導を吸収して早く一人前になれるように頑張っていきたいと思います。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

泌尿器科 福田喬太郎医師



徳島大学病院泌尿器科医員としてお世話になっております福田喬太郎と申します。

平成28年に徳島大学を卒業後、愛媛県立中央病院、徳島大学病院での初期研修ののち平成30年4月に入局しました。泌尿器科専攻医として手術や病棟業務など覚えることはたくさんありますが、幅広い領域で診療できる泌尿器科の魅力を感じつつ充実した日々を送っています。

休日はドライブ、買い物、食事に出かけるなど仕事とのオンオフを大切に過ごしています。趣味のプロ野球観戦にはなかなか行けず、阪神タイガースの順位に一喜一憂している日々です。特技のものまねも社会人となった今では披露する機会が少なくなってきました。至らぬところもありますが、明るく熱く、そして誠実に徳島の医療に貢献できるよう頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

食道・乳腺甲状腺外科 笹聡一郎医師



平成30年4月から徳島大学胸部内分秘腫瘍外科に入局させていただきました笹聡一郎と申します。

高知大学卒業後、高知赤十字病院で初期・後期研修を行い、外科専門医を取得しました。その後、がん研究会有明病院乳腺センターで2年間勤務した後、13年ぶりに徳島に帰って参りました。

趣味は釣りで、自分で釣った魚を自分で捌いて家族や友人と食べることが何よりの楽しみでしたが、最近はおっぱら食べることが専門になってきてしまっています。

徳島大学病院には、他科の先生方も含めて今まで知り合った先生方も多くおり、皆様のお力も頼りにさせていただきながら徳島の皆様の健康増進に少しでもお役に立てよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

循環器内科 藤本裕太医師



藤本裕太と申します。平成30年4月から循環器内科でご指導いただいております。

私は徳島大学を卒業し、徳島赤十字病院で2年間の臨床研修を行いました。学生時代から循環器内科を志望しておりましたが、その理由は心臓という臓器を通して全身管理を考えることができるからです。命に直結した領域であるだけに、学ばなければならないことが山ほどあります。虚血性心疾患や不整脈、超音波検査、リハビリテーションなど様々な分野を深く勉強したいと思い、当院での研修を希望しました。また、将来的に県外や海外へ留学できればと考えています。

休日はよく寝ています。車でおいしいものを食べに出かけるときもあります。

ご迷惑をおかけしてばかりですが、この半年間で成長できたと思うところもあります。今後も精一杯努力して参りますのでご指導いただけますと幸いです。何とぞよろしくお願い申し上げます。

看護部西病棟3階 山西萌花看護師



今年の3月に栃木県にある自治医科大学看護学部を卒業し、4月から当院の小児医療センターに配属になりました。山西萌花と申します。

看護学生の頃から小児看護に興味があり、子ども好きな事もあり、小児病棟で働きたいと思っていました。周りの方から栃木県出身の私がどうして徳島大学を選んだのかを聞かれるのですが、当院の小児医療センターが小児科や小児外科だけでなく、耳鼻科、形成外科、泌尿器科など複数の診療科から成る混合病棟であり、様々な分野の小児看護を勉強できると考えたからです。現に看護師としてとても勉強になっていると実感しております。

私の趣味は旅行やドライブ、hiphopダンスなど身体を動かすことが好きです。休日には徳島の美味しいものを食べたり、カフェに行ったりしています。まだまだ徳島の生活にも仕事にも慣れていない事だらけですが、先輩や同期に支えられながら、成長していけたらと思います。また、自分が理想とする看護師像に少しでも近づけるよう、これからも努力していきたいと思っています。